

横浜市立瀬ヶ崎小学校 学校便り

せがさきの風

大きな朝日さしのぼる 希望と愛の花が咲く
〒236-0037 横浜市金沢区六浦東三丁目2番1号
TEL 781-2446・2447 FAX 701-4892
ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/>
メールアドレス y3segasa@edu.city.yokohama.jp



6月号
2021(令和3)年
5月31日発行

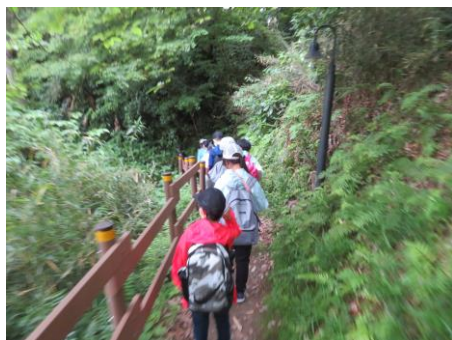
元気に あいさつして 瀬小を楽しく 盛り上げよう!

学校長 梅田 比奈子

毎朝、校門のところに立っていると、素敵な光景に出会う事がたくさんあります。そのひとつが、卒業生の挨拶です。中学生、高校生、そして、大人になった卒業生が、学援隊の皆さんに挨拶をしています。学援隊の皆さんも、卒業生にあたたかい声をかけています。小学生だった子どもが、大きく成長した姿に出会えること、そして、その子どもたちが進んで声をかけてくれること、本当に素敵な関わりです。

今年の4月。新聞のコラムに次のような話が掲載されていました。ある市役所に勤めるAさんは、進行性の目の難病で、徐々に視力が失われました。そして、現在は全く見えないそうです。目の見えなくなったAさんは、毎朝、バスに乗って通勤します。そこでは、小学生が乗り合わせ、手助けをしてくれます。

初めて声をかけられたのは10数年前。バス停で待っていたAさんに、「バスが来ましたよ。」と教えてくれました。そして、ドアまで導き、席の確保までしたそうです。その子が卒業すると妹や後輩がその役目を継いでいきました。Aさんは、感謝の気持ちをつづり、コンクールで大賞に選ばれたのをきっかけに、初めて手助けをしてくれた子どもたちみんなに直接会えたそうです。「小さな親切のリレーで、退職まで何とかがんばれそうです。」とその受賞作には書かれています。誰に頼まれたわけでもなく、誰かの力になる。少しの言葉かけ、行動から心がつながっていく・・・そんな姿を感じ、心があたたかくなるコラムでした。



人に声をかけるのは、勇気がいるものです。でも、そのちょっとした勇気が、人を幸せにもします。そして、その声をかける第一歩が「あいさつ」だと思います。最初に書いた卒業生と学援隊の方との関わりも小学生の時の挨拶がスタートだったかもしれません。

「元気に あいさつして 瀬小を楽しく 盛り上げよう!」は、子どもたちが考えた今年の児童会テーマです。「今年もコロナ対策で、大変なことが多いけれど、それに負けずに、気持ちを盛り上げてあいさつをして、みんなで元気に楽しく学校生活を送っていききたい。」という思いが込められています。子どもたちの思いを大切にしながら、みんなで元気に、楽しく日々の学校生活を積み重ねていききたいと思います。

今年度の水泳授業については、実施方法等について検討中です。実施する場合でも、開始は、7月からの予定です。詳しくは、また、お知らせします。